

この PDF は以下の書籍の II-2 「これなあに」 (pp.10-11)を抜粋したものです。

長田俊樹 & Madhu Purti. 2022. 『ムンダ語 夏期言語研修ムンダ語教本』. 府中: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.

2 これなあに？

例文

1. *nea do cana*?
2. *nea do ub*
3. *nea do cana*?
4. *nea do boo*?
5. *nea do cana*?
6. *nea do med*

和訳

1. 「これなあに？」
2. 「これ髪の毛だよ。」
3. 「これなあに？」
4. 「これ頭だよ。」
5. 「これなあに？」
6. 「これは目だよ。」

「これなあに」という質問がいかにかいじかを物語るエピソードからご紹介します。

昔、金田一京助という偉い先生がいました。アイヌ語の研究で有名で、文化勲章をもらった方です。その先生がカラフトへ行って、カラフト・アイヌ語を採集しようとしたときに、絵を使って語彙を採集したそうです。きっと絵がうまかったのでしょう。結構、語彙が増えていきました。絵だけでは限度があります。そこで、先生は少し頭を働かせて、めちゃくちゃな絵を描いて、こどもたちにみせたそうです。すると、こどもたちが「ヘマタ」と叫びました。この「ヘマタ」こそが「なあに？」を意味していたのです。そこで、先生は「ヘマタ」ということばを連発して、カラフト・アイヌ語の語彙採集が飛躍的にのびていったそうです。

このエピソードのように、「これなあに」を駆使すれば、新しい語彙を習得していくことができます。ムンダ語のように、あまり知られていない言語を学習するうえで、ひじょうに大切です。こどものころ、「これなあに」を連発しながら、新しい単語を習得していったことを思い出してください。

身体の名前を覚えよう

ub 髪の毛

boo 頭

med 目

muu 鼻

moca 口

lutur 耳
moloŋ 額 (ひたい)
jowa 頬 (ほほ)
kiwa 顎 (あご)
gucu 髭 (ひげ)
hotoʔ 喉 (のど)
taran 肩
tii 手
supu 上腕
talka 掌 (てのひら)
kaŋuʔ 指
laiʔ 腹
buŋi 臍 (へそ)
mayan 腰
kaŋa 足
mukuŋi 膝
bulu 太股

練習問題

1). 次の日本語をムンダ語に訳しなさい

1. これなあに。これ足だよ。
2. これなあに。これ髭だよ。
3. これなあに。これ掌だよ。
4. これなあに。これ腰だよ。
5. これなあに。これ喉だよ。

2). 次のムンダ語を日本語に訳しなさい

1. *nea do canaʔ? nea do lutur.*
2. *nea do canaʔ? nea do taran.*
3. *nea do canaʔ? nea do supu.*
4. *nea do canaʔ? nea do bulu.*